

# 令和7年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市中鷲7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	18,300,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障がい者センターとの合築で事務室ほか共有部分あり		

## ●利用状況

		R7 下半期	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	20,006	20,350	15,822	16,572	15,651
	移動児童館利用者数	547	339	396	323	348
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※17(14)	※13(11)	※16(13)	※15(15)	※15(14)
	開館日数(単位:日)	151	156	151	154	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②所長及び常勤職員3人、学生アルバイトの合計5人(児童厚生員4人、保育士資格3人、幼稚園教諭免許3人) ③「おたより」発行、配布(小学校、公民館、南保健センター、ツナグテ) 法人ホームページに掲載、活動内容を館内に提示しました。また、岐阜市が運用する「子育て相談アプリ」を活用し、行事等のお知らせを掲載しています。ホームページはスマートフォンにも対応し、お知らせなど児童館情報はブログや動画も用いて多くの子どもたちにタイムリーで効果的な広報活動に努めました。また岐阜市社会福祉事業団の統一した形式とし、当法人が管理している他の8施設のホームページにリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPするとともに、行事参加予定者に対しては電話連絡を行いました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。年に2回実施を予定している児童用、保護者用にアンケートを12月に実施しました。苦情・意見、アンケート結果は、逐次児童館内に掲示し、改善できるものは迅速に対応しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と週に2回就労継続支援B型事業所清掃班による清掃をしました。また、園庭除草作業を10月に実施しました。快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気に気を付けました。幼児室、おもちゃ図書館では、赤ちゃんが舐めてしまった玩具を置けるスペースを随時設置し、その都度消毒を実施しています。 ③使用していない部屋の消灯の徹底、適正室温の設定等節水節電を実施。古紙、ダンボール、ペットボトル、空き容器などを材料として活用しリユースに努めました。 ④専門業者による遊具点検を1回実施しました。また、月1回の職員による施設

		の安全点検、月 2 回の AED 器具の機能確認、毎日の消毒、清掃により、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。利用者の安全性が確保できないものは、安全が確保されるまで利用中止としました。 軽微で予算内で対応可能なものは直ちに業者へ修理を依頼しました。  ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局を通して、岐阜市へ要望を提出しました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報の保護 個人情報に記載された用紙については、使用后すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②非常時の対応策について 些細な事案であっても状況を把握次第、運営主体であります事業団事務局、所管の市役所子ども支援課へ素早く情報を共有し、相談する対応をとっております。また、ロッカーの使用、館内の各所にポスターにて注意事項を掲示、そして、こども達の変化にいち早く気付くよう、こども達が来館した際は1階と2階に職員を配置し、こども達との関わりを大切にしました。 また、災害や事故等、適切に岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ報告する体制を構築しました。 ③マニュアル等に沿って適切に実施しました。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況及び実施結果</p>	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt;</p> <p>【期間】 令和7年 12月 2日 ~ 12月 28日</p> <p>【回答者数】 100人</p> <p>【校区】 鶉: 42人 茜部: 13人 柳津: 12人 三里: 7人 市橋: 6人 厚見: 5人 且格: 3人 その他市内: 4人 その他市外: 8人</p> <p>【年齢】 10代: 1% 20代: 12% 30代: 77% 40代: 8% 50代以上: 2%</p> <p>【評価】</p> <table border="1"> <tr> <td>(あいさつ)</td> <td>満足: 98%</td> <td>ほぼ満足: 1%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(言葉づかい)</td> <td>満足: 97%</td> <td>ほぼ満足: 2%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用者対応)</td> <td>満足: 98%</td> <td>ほぼ満足: 1%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用しやすさ)</td> <td>満足: 81%</td> <td>ほぼ満足: 19%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(整理整頓)</td> <td>満足: 94%</td> <td>ほぼ満足: 6%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(清潔感)</td> <td>満足: 91%</td> <td>ほぼ満足: 8%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(換気)</td> <td>満足: 91%</td> <td>ほぼ満足: 9%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> </table> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt;</p> <p>【期間】 令和7年 12月 13日 ~ 12月 27日</p> <p>【回答者数】 100人</p> <p>【学年】 小学: 1年 3人 2年 21人 3年 17人 4年 22人 5年 15人 6年 14人 中学: 1年 2人 2年 0人 3年 4人 高校: 1年 0人 2年 2人 3年 0人</p> <p>【学校名】 鶉小 85人 境川中 6人 茜部小 2人 三里小 2人 その他市内 3人 その他市外 2人</p>	(あいさつ)	満足: 98%	ほぼ満足: 1%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(言葉づかい)	満足: 97%	ほぼ満足: 2%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(利用者対応)	満足: 98%	ほぼ満足: 1%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(利用しやすさ)	満足: 81%	ほぼ満足: 19%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(整理整頓)	満足: 94%	ほぼ満足: 6%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(清潔感)	満足: 91%	ほぼ満足: 8%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(換気)	満足: 91%	ほぼ満足: 9%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%
(あいさつ)	満足: 98%	ほぼ満足: 1%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(言葉づかい)	満足: 97%	ほぼ満足: 2%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(利用者対応)	満足: 98%	ほぼ満足: 1%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(利用しやすさ)	満足: 81%	ほぼ満足: 19%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(整理整頓)	満足: 94%	ほぼ満足: 6%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(清潔感)	満足: 91%	ほぼ満足: 8%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(換気)	満足: 91%	ほぼ満足: 9%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・時々、電池切れのおもちゃが時々あります。 ⇒ご迷惑をおかけしました。電池が切れた場合は入れ替えるようにしていますが、気が付かない場合もありますので、教えていただけましたらすぐに交換させていただきます。</p> <p>・駐車場が停められない時があります。 ⇒大変ご迷惑をおかけしておりますが、駐車スペースには限りがあります。ご理解とご協力をよろしく願いたします。</p> <p>・小学生の長期休みの時、利用者で部屋の年齢区分が分かっていない方がみえる(小学生が幼児室に妹弟と入っている)ので、今より分かりやすく明記してもらえると助かります。 ⇒お知らせいただきありがとうございます。早速、分かりやすく作り直し掲示させていただきました。また、入館時に職員の方からも声掛けをさせていただきます。</p> <p>・運動会あそびがとても楽しかったようで、子どもがすごく喜んでいました！熱で小麦粉の感覚あそびができなかったのも、またぜひやっていたけると嬉しいです。 ⇒運動会あそび、楽しんでいただけて職員も嬉しいです。小麦粉粘土あそびも幼児クラブ・自由参加クラブなどでも取り入れていきますのでご参加ください。お待ちしております。</p> <p>・有料でもいいので、手形・足形のバッグやキーホルダーなどを作りたいです。 ⇒ご意見ありがとうございます。無料でどなたでも参加していただけるようなイベントを職員で考えていきたいと思っております。</p>																																										

●指定管理者の選定基準に基づく評価(サンフレンド・うずら児童センター)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□利用者アンケートの実施(公平性・透明性①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:1回(12月に実施)</li> <li>・保護者用アンケート(100名)</li> </ul> <p>今期も幼児クラブ等の保護者だけでなく、一般利用の23名の方にもご協力いただき、幅広い方のご意見をいただくことができました。</p> <p>アンケート結果としては【職員について】の(あいさつ)98%、(言葉づかい)97%、(利用者対応)98%の方から『満足』との評価をいただきました。「来館すると、いつも優しく声をかけてくれて嬉しいです。」「いつも、子ども達に優しく接してくださりありがとうございます。」「子育ての相談ができればいいなと思ってきました。職員の方や他のお母さん方とお話ができ、たくさん話を聞いていただきスッキリしました。」「いつも先生が気軽に声をかけてくださり、助かりますし、お話をきて嬉しいです。」といった温かい言葉をいただき、職員の力になりました。</p> <p>また、今回のアンケートでは「児童センターにあったらいいなと思うおもちゃ」「お子さまの好きな絵本」など、お母さん方の率直な意見を聴くことができ、購入の際にとっても参考になりました。</p> <p>一方、【施設について】の(利用しやすさ)では「時間によって駐車が大変」「駐車場が停められない時がある」など、駐車場の利用についての意見がありました。現状では駐車場の拡大は難しく、例年の課題となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用アンケート(100名)</li> </ul> <p>入館カードを記入する際、アンケートに協力してもらえよう声をかけ、低学年に対しては、職員がそばで付き添い、分からないところは説明しながら進めました。</p> <p>【児童館のすきなところ】では「たくさん遊びがある」「誰でも気軽に来れる」「友達と待ち合わせをして、そのまま遊べる」「先生と一緒に遊んでくれるから嬉しい」「先生とおしゃべり」「みんなと遊べてもっと仲良くなれる」という意見がありました。</p> <p>また、【どうして児童館に行きたいと思ったか】では「楽しい場所だから」「暖かいから」「スタディールームで静かに友達と勉強できるから」「サンフレに在るだけで楽しいから」「ひとりでいても先生と一緒に遊んでくれるから」など、職員が思っている以上に子ども達にとって児童センターが安心して過ごせる「居場所」であることがわかりました。</p> <p>また、アンケートでいただいた貴重なご意見は全職員で共有し、事業に反映できるよう努めました。</p> <p>□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥)</li> </ul> <p>タブレット端末を活用してインスタグラムの運用をしており、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できました。イベントの案内や募集方法、活動の様子など動画や音楽を用いて、できる限り開催した当日中に投稿するよう努めました。また、アンケートの「児童センターを何で知りましたか?」では、100名中、63名の方の情報源となっていることがわかりました。前回と比べ、19名から63名と大幅に増加しており、多くの方に活用していただいていると実感できました。(下半期投稿回数105回、484件のいいね、469のフォロワー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣幼稚園におたより配布(再掲②⑥)</li> </ul> <p>多くの方に児童センターを知っていただくため、近隣幼稚園(わかば第二・第三幼稚園)と連携を図り、おたよりを園内に掲示して頂いております。今後も近隣の保育園、幼稚園に依頼し、保護者に情報がいきわたるよう努めていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)</li> </ul> <p>毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)</li> </ul> <p>毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にもサンフレドゥら児童センターのPRを行うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当校区へおたより配布</li> </ul> <p>各小学校・各公民館(鶉・茜部・且格)・岐阜市南保健センターにおたよりを配布しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの情報提供</li> </ul> <p>ホームページの更新、最新情報を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て応援アプリの活用(再掲②⑥)</li> </ul> <p>ホームページやインスタグラムのほかに、子育て支援アプリ(母子モ)を活用し、行事などのイベント情報を掲載して広く市民から参加者を募っています。母子モをみて、初めて来館される方も多くいました。(母子モ下半期投稿回数19回)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラブ申し込みの連携(再掲②⑥)</li> </ul> <p>登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブを紹介できる体制を構築しています。</p> <p>□業務改善や工夫(効果性③)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うずらまつり」の開催(再掲③⑥⑭)</li> </ul> <p>小・中学生や母親クラブ、地域の方にお手伝いいただき、当施設の一大イベント「うずらまつり」を開催しました。10月から小・中学生のボランティアスタッフを募り、コーナー遊びの準備など、来館できる時間を見つけながら少しずつ準備を進め、職員と一緒に取り組みました(スタッフ会議12回)。</p> <p>今回はテラスにブルーシートを広げ、フランクフルトや景品のお菓子を食べたり、コーナー遊び「ミックスジュースやさん」で作ったジュースを飲むことができるスペースを作りました。「フランクフルト最高!」「ミックスジュースのくじ引きドキドキしたね!」など、友達同士で会話が弾んでいました。</p> <p>当日はボランティアスタッフを中心に、率先して会場の準備やコーナーの担当を最後までやり遂げ、まつりを盛り上げてくれました。子ども達の意見をもとに充実した活動ができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三世代フェスティバル」の開催(再掲③⑥⑮)</li> </ul> <p>うずら老人クラブとの共催で「三世代フェスティバル」を開催しました。8、9月の「こどもうんえい委員会」で老人クラブ</p>
--------------------------	---

の方と一緒にできる遊びを考えました。その中で、こども達から「老人クラブの方へお礼に何かプレゼントを渡したい！」という声があり、ハロウィンが近いということで、かぼちゃのメッセージカードをおり紙で作り、メッセージを書いて、当日老人クラブの方に一人ずつお渡ししました。老人クラブの方からは「久しぶりにこどもの笑顔と笑い声を聴くことができて、可愛いメッセージカードをもらえ、幸せな時間でした」との声をいただきました。

核家族化や少子高齢化が進み、家庭や地域の中で高齢者とこども達が関わる機会がどんどん少なくなっている中、児童センターで交流できる場をこれからも作っていきけるよう努めます。

・保健師による「子育てのワンポイントアドバイス」(再掲③⑥⑭)

0歳対象の「びよびよタイム」に来ていただき、子育てのワンポイントアドバイスや個別に相談できる時間を提供しました。不安を抱える母親にとって安心して子育てができるアドバイスをいただき、参加されたみなさんは真剣に耳を傾けていらっしゃいました。

・「ねこクラブ」の実施(再掲③⑥)

上半期から立ち上げた自由参加クラブ「ねこクラブ」を下半期に12回開催しました。(参加人数は176組331名)参加された方からは「登録制幼児クラブと内容が全く違い新しい内容ですごく楽しめました」「家ではなかなかできない内容が多く親子で楽しめました」との声をたくさんいただき好評を得ました。

・小中学生向け「チャレンジ企画」や人気のある小学生行事の開催(再掲③⑥)

職員が得意なカードゲーム、新しく購入したゲーム等を「チャレンジ企画」として取り入れ、職員と一緒に遊ぶことで、大勢のこども達にまずそのゲームの楽しさを知ってもらいました。その後は友達同士や異年齢で盛り上がり遊ぶ姿を見ることができました。

また、小学生に人気のある「ドッジボール」や「カロム」を積極的に取り入れました。1月に行った「ドッジボール大会」では以前、遊びに来ていた高校生が審判を買って出てくれ、大会を盛り上げてくれました。その後は小・中学生と一緒にドッジを楽しみ、高校生も小・中学生も汗だくになって、ボールを追いかけていました。

・サイエンスショーの開催

元科学館館長によるサイエンスショーを開催しました。今回は小学生だけでなく、幼児親子がおたよりを見て家族全員で参加してくれました。児童・保護者・職員が大きな歓声をあげ、驚き、笑い、科学に対する関心が高まりました。

・放課後児童クラブ(ひまわり)との園庭での交流(再掲③⑥⑭)

児童クラブに入っているこどもが、一般来館のこどもと学校で約束をし、児童センターの園庭で遊ぶため、来館促進に繋がりました。寒さにも負けず、鬼ごっこやなわとび等の遊びを楽しんでいる姿をみる事ができました。

・「歯についてのおはなし」(再掲③⑭)

0歳対象「びよびよタイム」で地域にある歯科の先生をお招きして「赤ちゃんの歯」についての講座を開催しました。当日は、プロジェクターを使い先生がお話して下さるため、主任児童委員と職員が託児を行い、参加されたお母さん方にゆっくりと先生のお話を聞いていただけるよう努めました。質問タイムでは、お子さんの歯に関する悩みがたくさん出て、直接、歯医者さんに相談できる良い機会となりました。

・「カンガルークラブ」の実施(再掲③⑭)

「カンガルークラブ」は鶉校区の主任児童委員が未就園児(0~3歳)までの子とその保護者を対象に開催する幼児クラブです。活動後の交流会では、主任児童委員と保護者の交流を通して、お互いを知ってもらえる企画となりました。

・「パパと一緒にあそぼう！」の実施(再掲③⑥)

父親の来館が多い土曜日の午前中(隔月1回)にお子さんと一緒に遊ぶ楽しさを体験してほしいという思いから「パパと一緒にあそぼう！」を実施しました。今期も父親だけでなく、母親や祖父母と一緒に参加する姿もみられました。「運動会」「ボールあそび」など、父親とできるダイナミックな遊びを取り入れ、喜んでいただきました。

・母親クラブ「人形劇団ピーマン」による公演(再掲③⑥⑭)

自館の母親クラブに所属する団体「人形劇団ピーマン」に公演を依頼し、土曜日に開催しました。土曜日ということで、未就園児以外にも幼稚園児や保育園児などの年齢の大きい子も家族で参加してくれました。普段、なかなか観ることのできない人形劇を、目をキラキラさせながら親子で会話し楽しむ姿をみる事ができました。職員も読み聞かせやパネルシアター等を見せていますが、私たちができない世界を楽しませてもらい、良い経験ができました。

・スタディールームの開放(再掲③④)

宿題などを持って来館したこども達にスタディールームを開放しました。友達同士と一緒に勉強をしたり、家ではなかなか集中してできないからと家族で使われることもありました。

・発達に心配のある子とその保護者へ向けて「すくすく相談室」の実施(再掲③⑭)

岐阜市立恵光学園と連携し、センター主催の幼児クラブへ恵光学園の先生に参加していただき、幼児親子の様子を見ていただいています。クラブ後に「すくすく相談室」を実施し、保護者からの子育てに関する相談を受けていただきました。また、事前に予約をされた親子は個別で相談を受けています。

・一時保育への協力(再掲③⑭)

子育て支援の一環として、児童の長期休みを除いた平日(火・木・金)に図書学習室を使用して子育てサポートグッドライフが「一時預かり」を実施しています。児童センターは、利用案内時や行事などで利用している方にPRしました。

□新規事業(行事)等の実施

・「うんどうあそびチャレンジ！」の実施

職員が9月に開催された児童健全育成推進財団主催の「児童厚生員等基礎研修会」へ参加し、学んできた「ゲーム・うんどうあそび」の中から、4種目を抜粋し行いました。こども達と保護者、職員が大いに盛り上がりました。学んだことを直ちに実践でき生かすことができました。

・「くまクラブ」の実施(再掲③④⑥)

上半期のアンケートにて「親子で作業を楽しめるクラブを立ち上げてほしい」という声があったため、10月より「くまクラブ」を実施しました。お母さん方からは「成長の記念に残るものがいい」という声が多数あったため、お子さんの足形を使った「足形アート」を季節ごとのテーマに合わせて行いました。毎回、お子さんの可愛い足形で素敵な作品作りができました。参加されたお母さん方からもとても好評でした。(下半期3回 49組100名参加)

・「幼稚園の先生とあそぼう！」の開催(再掲③⑥⑭)

わかば第3幼稚園の先生方が遊びを提供してくれました。自館にはない大型遊具や様々なおもちゃで遊ぶことができました。また、幼稚園の先生方とお話する機会もあり「楽しかったです」とみなさん帰って行かれました。

・幼児クラブでの「クリスマス会」(再掲③⑭)

老人クラブの会長さんより「何かお手伝いできることはありませんか？」というお声をいただき、登録制幼児クラブ4クラブ、0歳クラブ、自由参加クラブの「クリスマス会」(計6回)にて、サンタクロースをお願いしました。トナカイに扮した職員と一緒に子ども達の前に登場すると、大きな歓声が上がりました。一人ひとりにプレゼントを渡し、一緒に記念撮影も行いました。「去年は泣いていたのに、今年はサンタさんと写真を笑って撮れました！」とお子さんの成長を喜ばれるお母さんの嬉しそうな姿をみることもできました。会長さんからは「なかなか、こんな小さいお子さんと触れ合うことができないので、こちらが元気をたくさんもらいました。また、良かったら来年も参加させてください！」と嬉しいお声をかけていただきました。

・母親クラブ「子どもの夢広場」によるリース作りの実施(再掲③④⑭)

自館の母親クラブに所属する「子どもの夢広場」に小学生向けの「立体のクリスマスリース作り」をお願いしました。毎年、幼児クラブ等でクリスマス会のプレゼント用としてリースを作っていたいただいており(6クラブ90個)、その作品を見た小学生が「私たちが作りたい！」という声がありました。

同じパーツを8個、組み合わせて完成させるのですが、集中して真剣に黙々と頑張って作り上げました。自分で作ったリースは格別のように「自分の机に飾っておく！」と喜んで持ち帰りました。

・「サイコロ DE ぞろめ」の実施(再掲③⑮)

冬休みにお正月あそびの一環として、隣の児童クラブの子ども達と一緒に「サイコロ DE ぞろめ」の行事を行いました。学校のある平日はセンターの来館者が多いため、なかなか交流ができないのですが、お正月ということで来館者の少ない午前中を利用して実施しました。

サイコロを振って遊ぶ簡単なゲームですが、一人目から「ぞろめ」が出たため、子ども達はあちこちでハイタッチを交わし、職員たちの大歓声で大いに盛り上がりました。普段、園庭での交流はありますが、ゲームなどのイベントと一緒にする機会がなかったため、今回のように児童クラブの子ども達とセンターの子ども達が一緒になって盛り上がることができ、児童クラブの子ども達からも「楽しかった。」「また、やってね！」との声がたくさんありました。

・「ぼんぼんシールを作ろう！」の実施(再掲③④⑥)

今、子ども達の間で「シール交換」が流行っています。シール帳を職員に見せてくれている時に「シールを作りたい！」という声が多数あったため、行事として企画できないか、職員で調べて実施しました。おたよりを配布した時点で問い合わせが殺到し、申し込みの際にはあつという間に定員数をオーバーしたため、急遽、同日に2回目を開催し、申し込みをした子ども達が全員、参加できるように配慮しました。

当日は自分だけのオリジナルシールができあがり、友達同士で交換したり、大事そうに自分のシール帳に貼っている子もいました。

・外部講師を招いての工作教室(再掲③⑥)

造形作家の先生をお招きして廃材を使った工作を楽しみました。今回、牛乳パックを使い「びっくり箱」を作りました。「身近な素材を使って、様々なものと組み合わせることにより“おもちゃ”にもなります。」という先生の言葉が印象的でした。子ども達の「これでお母さん驚いてくれるかな？」と想像しながら作っている姿は生き生きとしていました。

・「ネイルチップを作ろう！」の実施

自館にネイリスト検定3級の資格を持っている職員が子ども達と一緒にネイルチップ作りを行いました。子ども達は職員の説明をしっかりと聞きながら、真剣に細かい部品を貼り仕上げました。帰る際は「ねえねえ、みてみて！」と誇らしげに両手につけたネイルチップを見せてくれました。

・放課後児童クラブ(ひまわり)との共催「うずらカップ」の開催(③⑮)

児童クラブと児童センターの職員で「何か一緒に安全に楽しめることはできないか」と検討し、年齢関係なくできる「カラム」で対戦する「うずらカップ」を開催することとなりました。共に予選で代表者を選ばし、決勝トーナメントを遊戯室で行いました。児童クラブからとセンターからの応援隊の声が遊戯室中に響き渡っていました。

・絵本の貸し出し開始(再掲③④)

上半期アンケートにて、図書館のように絵本の貸し出しをしてほしいとの要望があったため開始しました。大勢の方に利用していただきました。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・子どもうんえい委員会(再掲③⑥)

「来月の行事でやりたいこと」「三世代フェスティバルでやりたいあそび」「うずらまつりでやりたいこと」を子どもたちが意見を出し、実施できる話し合いの場をつくりました。また、10月に開催した「三世代フェスティバル」のポスター作りや老人クラブの方へのお礼(プレゼント)作りも行いました。

・うずらまつりボランティアスタッフ(再掲③⑥)

10月から小中学生のボランティアスタッフを募り、すべてのコーナーをボランティアスタッフで行いました。「こんなことやりたい!」「これ楽しそうじゃない?」といったたくさんのアイデアが飛び交い、話し合いながら内容を決めていきました。その後の準備でも看板作りやゲームの練習、飾りつけなどみんなで協力して頑張ってくれました。どの作業も一生懸命、楽しみながら取り組む姿がとても印象的でした。(スタッフ会議計12回)

おまつり当日は、呼び込みをしたり、ゲームの説明をしたり、みんなそれぞれの役割をしっかりと果たし、本当に頼もしかったです。「楽しかった!」「自分たちで企画したの?すごいね!」という声をたくさんいただき、子ども達にとっても、自信に繋がる素敵な経験となりました。

□移動児童館の実施(仕様書別記4参照)(効果性⑤)

・実施回数:17回(うち未設置地区:14回)

担当地区 鶯、茜部、且格の3地区

- ・鶯青少年育成市民会議 3回 61組参加
- ・岐阜市社会福祉協議会茜部地区 3回 89組参加
- ・茜部青少年育成市民会議 2回 30組参加
- ・日置江社会福祉協議会 9回 44組参加

各種団体と連携をして移動児童館を開催しました。移動児童館をきっかけに児童センターのPRとなり、未設置地区の茜部・且格からの新規来館者が増加しました。

□利用者へのサービス向上につながる方策の実施

- ・手荷物の自己管理ができるよう「ロッカーの使用」を促す(再掲④⑤)
- ・帰宅時の交通安全の呼び掛け(再掲⑤⑬)

帰宅する際、児童を中心に車等に気を付けて帰るように注意喚起しました。特に利用が多い日は、駐車場での出入りに気を付けるように声かけや誘導をしました。

- ・入退館時の声掛けの徹底(再掲⑤⑬)

利用者の入退館時は、必ず玄関で利用者に声をかけて対応するようにしています。お出迎えの時は「待っていたよ」「～ちゃんの服かわいいね」などアットホームな雰囲気に対応しています。見送りの時は、「またきてね」「今日はありがとう」など来てくれたことに感謝する声掛けを必ず行うようにしました。

#### □利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

- ・「うずらまつり」の開催(再掲③⑥⑭)
- ・「三世代フェスティバル」の開催(再掲③⑥⑮)
- ・「くまクラブ」の実施(再掲③④⑥)
- ・保健師による「子育てのワンポイントアドバイス」(再掲③⑥⑭)
- ・「ねこクラブ」の実施(再掲③⑥)
- ・「幼稚園の先生とあそぼう！」の開催(③⑥⑭)
- ・「パパと一緒にあそぼう！」の実施(再掲③⑥)
- ・小中学生向け「チャレンジ企画」や人気のある小学生行事の開催(再掲③⑥)
- ・「ぼんぼんシールを作ろう！」の実施(③④⑥)
- ・外部講師を招いての工作教室(③⑥)
- ・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥)
- ・近隣幼稚園におたより配布(再掲②⑥)
- ・母親クラブ「人形劇団ピーマン」による公演(再掲③⑥⑭)
- ・放課後児童クラブ(ひまわり)との園庭での交流(再掲③⑥⑮)
- ・幼児クラブ申し込みの連携(再掲②⑥)
- ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)
- ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
- ・子育て応援アプリの活用(再掲②⑥)

#### ◎こどもたちが中心で活躍できる環境づくり

利用しているこどもたちが遊びだけでなく、活躍できる場を用意していきました。昨年から続けているこどもの意見を聞く場である「こどもうんえい委員会」をはじめ、大型行事のボランティアスタッフ「うずらまつりボランティアスタッフ」や普段から遊びのリーダー制度など自立心を高めていけるようしています。そういった様々な目的・目標を作ることで児童センターを利用することが多くなり利用者の増加につながりました。

#### □職員研修の充実(再掲⑫⑬)(安定性・安全性⑫)

- ・職員スキルアップ研修会(6月～11月、年4回開催、下半期は2回開催) 各児童館・児童センター職員が講師となり持ち回りで開催しました。各施設1名以上が参加しました。
  - 10月29日：柳津児童館 10名参加 内容：0歳児向けクラブの内容について各児童館職員が発表しました。
  - 11月6日：東児童センター 10名参加 内容：小学生向けのすぐに生かせる工作を各児童館職員が発表しました。
- 《職員スキルアップ研修会・外部講師》
- ・こどもにおける外傷対応の基礎知識
  - 1月20日：岐阜大学医学部・講師：岐阜大学医学部教授 12名参加  
内容：児童館利用時のこどもの擦り傷・切り傷をはじめ適切な初期対応方法を学びました。
  - ・療育実習
  - 1月30日～2月18日：岐阜市立恵光学園・13名参加  
内容：実習により児童発達支援センターの機能、役割を理解し、支援者としての援助技術を深めました。
  - ・危機管理(BCP)・感染症対策研修会
  - 2月～3月：WEB研修・全職員参加  
内容：災害発生時のBCPの取り組み、代表的な感染症と発生時の対応などについて学びました。
- 《虐待防止研修会》
- ・こどもの人権研修会
  - 2月26日：事務局・講師：岐阜市役所人権啓発センター職員 10名参加  
内容：こどもの人間関係の大切さについて、小学校教員である講師から実体験を交えながら教えていただきました。
- 《岐阜市こども計画》
- 3月5日：事業団4階・講師：岐阜市役所子ども政策課職員 10名参加  
内容：冊子「岐阜市こども計画」に沿って、児童館の役割等について学びました。

#### □リスク防止対策の実践(安定性安全性⑬)

- ・こどもたちには現金などの貴重品の持ち込みを禁止していることを何度も繰り返し伝えました。その上で万一貴重品を持参した場合は、必ず鍵付きロッカーで保管するよう徹底しました。
- また、館内各所にポスターにて注意事項を掲示しました。
- ・こどもたちの変化にいち早く気付くよう、こども達が来館した際には1階と2階に職員を配置し、こども達との関わりを大切にしました。
- ・こどもたちが安心して、安全に遊ぶことができる居場所としての機能を果たすため、小中学校・エールぎふ・地域の

方々と連携し、安全確保に努めました。特に気になる子への対応については小学校の先生と情報交換を密に行いました。

・職員研修の充実(再掲⑫⑬)

・虐待防止委員会

当事業団児童館、児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催しました。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。

・避難訓練の実施

避難経路や各自の役割を再確認しました。

・電子メールの誤送信対策の徹底

メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的に BCC に変換できるソフトを導入し、対策しています。

・入退館時の声掛けの徹底(再掲⑤⑬)

・帰宅時の交通安全の呼びかけ(再掲⑤⑬)

・子ども 110 番の家の登録(再掲⑬⑮)

こどもが助けを求めた際、そのこどもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみでこどもたちの安全を守るため、子ども 110 番の家に登録しています。

・施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。

・職員による施設の安全点検、おもちゃ点検を毎月実施

・専門業者による遊具点検、消防設備等点検の実施(各1回)

・AED 点検 毎月 2 回実施

□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)

・境川中学校2年生 職場体験

生徒の進路学習の一環として、一日職場体験を行いました。話をする中で、4名の生徒すべてが児童センターのようなこども相手の仕事に興味を持っていたこともあり、積極的に0歳児の親子とコミュニケーションを取ったり、赤ちゃんと遊ぶ姿をみる事ができました。お礼状には「0歳の子と触れ合うことができ、貴重な体験をさせていただき嬉しかったです。将来、こども関係の仕事に就きたいと思っているので、頑張って勉強していきたいです。」との声をいただきました。今回の体験が少しでも将来の仕事に繋がってくれるとうれしいです。

・鶯小学校2年生 生活科学習

小学校の生活科の学習で、自分達の住んでいる町にはどんなお店や施設があるかの勉強で見学に来館しました。児童センターに初めて来館した子もおり、入館カードの書き方の説明やどんな部屋があるのか見学しました。普段は入れない幼児室やおもちゃ図書館に興味津々でした。その日の下校後はたくさんの2年生が遊びに来てくれました。

・境川中学校1年生 職場体験

総合的な学習の「地域に関する学習」の一環として、職場体験を行いました。

来館した5名全員が児童センター初来館だったため、「中学生も無料で遊ぶことができるんだ。行っていいんだ。知らなかった」と話してくれる子もいました。

・中部学院大学教育学部 フィールドワーク研究

大学の授業の一環のフィールドワーク研究で、自分が幼い頃に利用していたうずら児童センターでこどもの頃とは違った視点から、児童館が行う取り組みや子育て支援について学びたいと要望がありました。当日は館内で遊ぶ親子の姿や幼児クラブでの様子を見学し、学生の質問に対して答えました。

・鶯小学校運営協議会委員として参加(2回)

・鶯まちづくり協議会委員として参加

□地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用

・当法人内の就労継続支援 B 型事業所による施設清掃・除草作業を実施しました。

・「うずらまつり」を開催(再掲③⑥⑭)

・保健師による「子育てのワンポイントアドバイス」(再掲③⑥⑭)

・「歯についてのおはなし」(再掲③⑭)

・「幼稚園の先生とあそぼう！」の開催(再掲③⑥⑭)

・母親クラブ「人形劇団ピーマン」による公演(再掲③⑭)

・母親クラブ「子どもの夢広場」によるリース作りの実施(再掲③④⑭)

□地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮)

・学校との情報等の共有

鶯小学校と情報共有として「スマート連絡帳」を登録しています。また近隣小学校と不審者情報共有しています。

・岐阜版アダプトプログラムへの参加

職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的に実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。清掃活動を毎月一回実施しています。

・子ども 110 番の家の登録(再掲⑬⑮)

□地元の団体・住民との協働事業等の実施

・三世代フェスティバル開催(再掲③⑥⑮)

・「カンガルークラブ」の実施(再掲③⑮)

・幼児クラブでの「クリスマス会」(再掲③⑮)

・「サイコロ DE ぞろめ」の実施(再掲③⑮)

・放課後児童クラブ(ひまわり)との園庭での交流(再掲③⑥⑮)

・放課後児童クラブ(ひまわり)との共催「うずらカップ」の開催(再掲③⑮)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に心配のある子とその保護者へ向けて「すくすく相談室」の実施(再掲③⑮)</li> <li>・一時保育への協力(再掲③⑮)</li> <li>・日置江社会福祉協議会等の子育て支援講座の共催</li> </ul> <p>日置江地区の子育てサロン子育て支援講座「にこにこくらぶ」を共同開催しています。参加する保護者が自信をもっていきいきと育児を楽しめるように、他団体と連携して「親子で楽しめる体操」「絵本の読み聞かせ」「おもちゃ作り」の活動を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃ病院「ぎふ」によるおもちゃの修理 毎月1回</li> <li>・青少年育成市民会議等の関係団体が主体となって実施する親子ふれあい教室などの支援協力をしました。(下半期17回実施 224組参加)</li> </ul>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□夏休みに幼児室でのおはなし広場を毎週金曜日に開催し、参加者から読んでほしい本のリクエストを受けた本もよむなど、利用者のことを考えて行っている。</p> <p>→夏休みのおはなし広場で好評だった、参加者からのリクエストを受けた本の読み聞かせを下半期も行いました。今後も継続していきます。</p> <p>□入退館時にあいさつ以外にも声掛けをし、居心地の良い児童館づくりに努められている。</p> <p>→下半期に実施したアンケートでも、「あいさつ」「利用者対応」では共に98名の方から『満足』との評価をいただきました。これからも居心地の良い児童館づくりに努めていきます。</p> <p>□令和6年度下半期に発生した紛失事故を踏まえ、リスク管理に対するマニュアル整備を行い、マニュアルに沿って業務遂行している点は評価できる。</p> <p>→今後もマニュアルに沿って継続していきます。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□こども達のニーズの把握に努め、職員の得意分野も活かししながら、新しい活動や行事を実施していきます。</p> <p>□こども達がいろいろな経験ができるよう、外部講師や地域の方のお力をお借りし、新規行事の企画に努めます。</p> <p>□「こどもうんえい委員会」や「小中学生ボランティアスタッフ」などを引き続きおこない、こども達の意見を尊重し、こども達が活動、活躍できる機会を増やします。</p> <p>□学校や家庭に居場所がないこども達を支援するため、来館した一人ひとりの児童たちに目を配り、話しかけ、必要に応じて学校など関係機関との連携強化を図ります。また、事業団児童館長を中心に虐待防止委員会を組織し、研修・事例研究などを進めていきます。</p> <p>□今後もInstagramや母子モによるPR活動に努めます。</p>

#### ●所管課の意見

- 「ネイルチップを作ろう!」や「|ぼんぼんシールを作ろう!」など子どもから提案のあった行事を職員で共有し、開催するなど、子どもの意見を大切にしている。
- 放課後児童クラブが併設されており、長期休みにはゲームの大会を開催するなど、施設の特徴を生かした遊びを子どもに提供している。

#### ●指定管理者評価委員会の意見

- 子どもから提案があったものを取り入れている点について、非常に良い取り組みであり、利用者が増えている要因とも考えられ、評価できる。